

## 未来ビジョン創造委員会

委員長 海保 秀成  
副委員長 萩原 成史

### 【事業方針】

我々、J C I 桶川は、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による設立から、運動は始まりました。共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに、持続可能な地域社会の実現を目指し、様々な地域・社会的課題に積極的に取り組んできました。

一方、近年、「VUCAの時代」(注1)と言われるように、地域を取り巻く社会の変化は激しく、また不確実そして複雑化した社会となる中、地域では、抱えている課題も複合的な要因が絡み合い、その解決が難しくなっています。そこでJ C I 桶川、この課題を解決するためには、地域の公共・民間・市民社会というセクターの枠を超えて「協調」した地域の取組(共創)が必要と考えました。

このような考えから、J C I 桶川は3つのセクター(トライセクター)(注2)の協調と共創を推進していくためのプロジェクトチーム、未来ビジョン創造委員会を発足させました。

当委員会では、まず、これまでおこなってきた事業を検証し、新たな事業に挑戦します。ここ数年、J C I 桶川がおこなってきた体験型の事業と同様に、私たちが伝えたいことを一方的に発信するのではなく、参加した方々とコミュニケーションをとりながら協力し、行動することによって学ぶことができる事業をおこなうことで、協調性と自主性を育みます。

また、本年度のメンバーの大半が入会3年未満の会員です。固定概念にとらわれず、メンバー一同、何事も「やってみよう」の精神のもと、失敗を恐れず、よりよいまちづくりとJ C I 桶川のさらなる発展のため、熱誠をこめた活動に取り組んでまいります。

### 〈注釈〉

(注1)VUCA: Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)の頭文字を並べた造語であり、将来の予測が難しい状況を意味している。

(注2)トライセクター: 公共・民間・市民社会の3つのセクターを示す。公共セクターは国そして県・市町村等の地方公共団体、民間セクターは企業や経済団体、市民社会セクターはNPO・住民等を示す。

### 【事業計画】

1. 地域を客観的に捉えて地域課題を発見し課題解決に向けた施策立案の実施
2. 地域の課題解決・魅力創出に向けた多様なステークホルダーとの共同事業の実施
3. 地域・社会の課題をジブンゴトとして捉え、自らが考え動く人材の育成